

●「2018 なかがみ餅つき大会」開催

市民会議、地域活動部会は2月18日(日)中神熊野神社境内で「第13回なかがみ餅つき大会」を開催しました。

穏やかな冬の陽ざしのもと、午前8時、25名を超える実行委員(自治連 第5・6ブロックの各自治会会員・地域の有志・市民会議会員・中神小学校吹奏楽団中神っ子ウインズの保護者のおかあさん方)の皆さんが熊野神社境内に集合。作業前に、中野光弘部長、桜井堅司 実行委員長から作業手順と食中毒防止のための衛生管理について説明があり、その後、各自の作業にとりかかりました。



▲ 餅つき隊 実行委員の皆さん



▲ 初めての餅つき



▲ あんこ・きな粉・からみ餅を作る



▲ 熱々の豚汁作り隊



▲ 満員のテーブル席

10時のスタートには、陽のあたるテーブル席に家族連れの皆さんが腰を下ろし、温かい豚汁とつきたての餅を食べはじめました。

空腹を満たした子供達は、餅つきの順番待ちの列をつくり、やがて子供用の杵(きね)を握りしめ、周囲の方の支援を得て懸命に臼(うす)の中の餅をつき始めました。

初めての経験なのか、保護者の助けを受けながら杵を持つ子供もみられ、おもわず応援したくなる光景です。



▲ つき終わるかな



▲ 未来の餅つき隊

この餅つきは、地域の皆さんが、子供たちと共に日本の伝統文化である餅つきの中で交流を深め、絆を強めていきたいとの願いから行っています。

また、当日楽しんでいただいた子供たちが大人になった時、故郷(ふるさと)中神での餅つき大会の記憶を呼び戻してもらえればとも思っています。

これからも、積極的に餅つき大会を引きついでいただければ一層嬉しいことです。

昭島市は、地域防災対策の一環として、各小学校を中心拠点とした避難所運営計画に力をそそいでいます。

餅つき大会は地域ぐるみの連携作業であり、こうした貴重な経験が、震災時の炊き出しや、その他共同作業に役だつのではないかと考えています。

地域皆様のご理解をいただければ主催者側としても幸いです。

予定どおり正午に無事終了することができました。

参加人数 315名、餅つき大会を支えていただいた実行委員の皆様、ご協力大変ありがとうございました。

(地域活動部会 部長 / 中野 光弘 協力広報部会)